

創業70周年企業紹介



代表取締役社長 杉田真一 氏

株式会社杉新衣裳店

創 業 ● 昭和28年 2 月

設 立 ● 昭和44年 5 月

代 表 者 ● 代表取締役社長 杉田真一

資 本 金 ● 5,212万円

事業内容 ● 貸衣裳全般・挙式場・フォースタジオ、結婚プロデュース 他

【本 社】津市乙部14-31

TEL.059-226-2205

【四日市店】四日市市中部15-4

TEL.059-336-6730

【伊 勢 店】伊勢市浦口 2 丁目1-1

TEL.059-623-3322

【カリヨン】津市丸之内20-24

TEL.059-272-4005

これまでの歩み

昭28年 2 月	三重県津市乙部14-31において創業
昭44年 5 月	資本金5000万にて株式会社杉新衣裳店を設立
昭55年 8 月	久居店開店（Aコープ結婚式場内）
昭57年 3 月	松阪店開店（松阪グリーンホテル内）
昭59年 5 月	鶴方店開店（志摩郡阿児町）
昭63年 6 月迄	津都店・伊勢店・松阪店・名張店を開店
平元年 4 月	津本店新社屋建設
平 3 年11月	四日市店開店（四日市都ホテル内）
平 4 年 3 月	上野店開店（上野フレックスホテル内）
平 9 年 5 月迄	鈴鹿・津商品センター・鈴鹿店・洞津店・新宮店・鈴鹿 2 号店開店
平10年10月	総合ブライダル館「ワールドステージ津店」開店（津市丸の内に路面店）
平14年 9 月	総合ブライダル館「ワールドステージ四日市店」開店
平16年 7 月	杉田真一が代表取締役社長に、杉田和彦が代表取締役会長に就任
平16年11月	伊勢店開店（伊勢市浦口に路面店）
平19年 4 月	ワールドステージの改装により「チャペルブランドブルー」開設
平26年 4 月	四日市店開店（四日市中部に路面店）
令 4 年 2 月	創業70周年を迎える

●経営理念について

私達はブライダル事業を通じて多くのお客様に感動と喜びを与えます。その為に常に人間力の向上と専門分野の研究に努めます。

●創業当時から現在に至って

江戸時代後期、母方杉田家の祖先が津の地において雑穀の商いを興します。これが当社の起源となり、その後祖父・新兵衛の代となった戦後間もない頃に「杉新」の屋号で質店を営みました。

その後、母との結婚によって昭和27年に杉田家に入った父・和彦は祖父とも相談の上、より新しい時代への商いと模索し、当時三重県にはほぼ未開発の事業領域であった貸衣裳業を創業し、本年70年目を迎えることが出来ました。

●インショップ展開へ

昭和50年代より着手し始めたのは、商業施設やホテル、式場、家具店への支店出店、インショップ展開でした。後の最盛期には全18支店のネットワークを構築しました。

私が大学卒業後同業大手での修行を終えて家業に就いた62年当時はまさに出店推進真っ盛りの頃でした。その翌年持ち上がっていたのは津本店の増改築・増床計画です。

先代（父・和彦）からはいきなり「任せるから、やりたいようにやってみなさい」と任せてもらい周りの多くの協力を得ながら翌63年に、現在の「SUGISHIN 津本店」が落成しました。父親は任せたからには余計な口を挿む事をしないタイプで、後には沢山の失敗経験を含めお陰で随分と鍛えられました。

本当に感謝しかありません。

●路面店展開へ

バブルが終焉を迎え、後に失われた30年とも呼ばれる長期景気停滞期に突入すると業界にも様々な影響を被ります。挙式数の減少や、地味婚・小人数婚等各会場（支店）への集客もバラツキがあり、よりお客様に対応できるようにインショップの機能から路面店へシフトをしました。

平成10年には津市丸之内に総合ブライダル館ワールドステージ（現カリヨン）を開設し、フォースタジオ・チャペル・式場紹介・婚礼プロデュース事業をスタートしました。

平成16年には伊勢市内に平成26年には四日市中部に衣裳店並びカリヨン窓口を開設しました。現在路面店 4 店舗・カリヨン窓口 3 店にて展開しています。

●今後の取組

近年のコロナ禍の状況で、様々な形での挙式やパーティーのニーズが増え今後の「杉新」・「カリヨン」が担う役割も増えてくると思います。

三重県内でのホテル・ゲストハウス等での挙式場の御紹介を始め、家族婚・フォトウェディング・神社婚等の様々なプロデュースを今後も提案して参ります。

又、衣裳に関しても国内を始め、NY・ミラノ等海外ブランドも充実させて幅広いニーズに応えていきます。

●最後に

結婚式は社会にとっても必要不可欠な存在だと思います。

それは結婚式を挙げたカップルの出生率の方が挙げていないカップルより高く、未婚列席者の過半数が婚姻意欲や出生意欲を高めたと言うエビデンスもあるからです。

日本において婚姻数そして結婚式の数を増やす事が少子化対策や地域活性の切り札になるに違いないと思います。

これからも我々が担っていく社会的役割は沢山あり社員一丸となり今後も取り組んで参りたいと思います。何卒宜しくお願い致します。

